

2年次研修医



日高 雅夫 Masao Hidaka
川崎医科大学 H28年卒

趣味

マラソン

一言

現在、将来のために多くの臨床経験を基に研鑽を積んでいます。また、多くの患者と向き合い、患者や家族が望む医療を提供したいです。



安立 弘太 Kouta Adachi
山口大学 H29年卒

趣味

ラグビー観戦

一言

外科系を志望しており、将来の為に日々の研修で技術を磨いています。地元の北九州で、医師として地域に恩返しをしたいと思います。



大平 大 Dai Ohira
島根大学 H29年卒

趣味

野球

一言

将来何科に進んだとしても、動く手・頭を身につけるために日々頑張っています。



1年次研修医



大賀 慎平 Shinpei Oga
新潟大学 H30年卒

趣味

食べ歩き、映画鑑賞

一言

外科系を志望しています。実践で経験できることを最大限に活かし、一つ一つ確実に身につけて頑張っていきます。



知念 将志 Masashi Chinen
琉球大学 H31年卒

趣味

ラグビー、アウトドア、読書

一言

外科系を志望しています。また、救急においては、外科・内科双方の知識が必要とされますので、日々の研修で多くのことを学び研鑽を積んでいきます。



倉恒 克典 Katsunori Kuratsune
産業医科大学 H31年卒

趣味

飲み会

一言

社会人としての基礎を身につけ、医師としての技術を磨き、何事においても向上心をもって全力でやっていきたい。

研修医受入れ実績

平成22年	4名	鹿児島大学、久留米大学
平成23年	4名	宮崎大学、長崎大学、鹿児島大学
平成24年	3名	久留米大学、徳島大学、京都府立医科大学
平成25年	4名	産業医科大学、琉球大学、佐賀大学
平成26年	4名	山口大学、鳥取大学、琉球大学、関西医科大学
平成27年	3名	宮崎大学、琉球大学、久留米大学
平成28年	4名	産業医科大学、三重大学、山口大学、長崎大学
平成29年	2名	琉球大学、島根大学
平成30年	3名	島根大学、山口大学、川崎医科大学
平成31年	3名	産業医科大学、新潟大学、琉球大学



看護部長
成瀬 早苗

ご挨拶

平成30年10月1日より新小文字病院の看護部長を拝命しました。

当院の看護部は「手には技術、頭には知識、患者には愛を」の病院理念のもと、日々救急・外来・入院患者さんの健康回復・苦痛軽減・日常生活援助・メンタルサポートなど「当院に来られるすべての方のため」に邁進しています。

「新小文字病院に来てよかった」と、患者さんやそのご家族、連携病院や介護施設の皆さんに思ってもらえるような質の高い看護を提供できるよう、これからも精進してまいります。楽しく真摯に医療・看護に取り組みながら、新小文字病院の良い伝統を継承しつつ、時代や医療情勢の流れに合わせた改革・変革に柔軟に対応できる「気は優しく力持ち（強い）看護部」をつくっていきたいと考えています。

看護部概要

2019/4/1付

- 看護師346名（パート8名）
- ケアワーカー（看護補助者）39名
- 育児休暇13名
- 産前休暇5名
- ソーシャルワーカー5名
- ケアマネージャー1名
- 事務3名
- 平均年齢30.2才（看護師）



認定看護師

CERTIFIED NURSE

皮膚・排泄ケア
大谷 純子

ストーマ外来をしています。受診希望の方は、事前に電話にてお問合せ下さい。また、他施設様へ出向き、勉強会の出張開催をしています。内容は、褥瘡やスキンケア等々です。お気軽にご相談ください。

集中ケア
新井 祐介

私は、2014年に集中ケア認定看護師を取得しました。現在は、ICU・HCU師長として業務し、今年度、特定行為研修を受講しています。院内では、フィジカルアセスメント研修、BLS・ACLS研修などを実施し、院外では、周術期看護、呼吸器看護、心電図、異常に気づける観察ポイント等の講義を実施しています。患者や家族を一番に考えて、患者が出しているサインにすぐに気づき看護が出来るよう、スタッフと共にスタッフと共に日々楽しく学びながら業務をしています。上記研修に興味がある方は、いつでもご連絡ください。

感染管理
小埜 隆広

院内感染管理担当者として、専従で感染対策業務に携わっております。感染対策ラウンド、職員研修、相談対応等の活動を院内のみでなく、他施設様へも行ってまいります。特に研修会は、楽しく参加できる研修会を心がけています。電話、手紙、メールなどお気軽にご相談ください。

Tel:093-391-1001(代表)
Mail:kict@shinkomonji-hp.jp

認知症看護
松尾 圭祐

認知症・高齢者サポートチームを立ち上げ、回診を実施しています。回診では認知症者に対する環境調整を主に実施しています。患者を第一に考え、患者側、治療とを天秤にかけ、スタッフ、患者間で一番いい選択が出来るように日々奮闘しています。環境調整、BPSD予防やBPSDでお困りがあれば、研修や訪問もさせて頂き、自分自身も勉強したいと思っています。お気軽にご相談下さい。

がん化学療法看護
松田 静江

がん化学療法を受ける患者さんの投薬管理や副作用の観察、心理的支援などを主に行っています。がん患者さんも高齢化が進み、施設に入所しながらがん治療を行うことも増えています。がん化学療法のことでお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。



ER

外来/ER ● 師長
乙咩 保枝

外来

全力救急!! スマイルいっぱい!

思いやりの心で安心して受診できる環境づくりをしています



ICU/HCU

北九州の重症患者は、
私たちが守ります!!

- ICU/HCU ● 師長 **新井 祐介**
1. 重症患者の早期離床を見据えたクリティカルケアはお任せ下さい
 2. 質の高いクリティカルケアを提供しながらリハとの協働で目指せ早期離床!!



内科

高齢者の退院後の生活を見据えた支援に力を入れています

4階病棟 (内科) ● 副師長
赤木 美香



4F



脳神経外科
内分泌・糖尿病内科

5階病棟 ● 師長
脳神経外科
内分泌・糖尿病内科
近藤 慎也

門司の「脳神経外科」「内分泌・糖尿病内科」の患者さんへ安心していただける看護サービスを目指しています



5F



整形外科/形成外科

小さな思いやりでもコツコツ (骨骨) と安全安楽なケアを行っていきます

6階病棟 ● 師長
整形外科
形成外科
吉野 貴子



6F



脊髄脊椎外科

チームワークで助け合い患者中心の寄り添った看護と笑顔で満足度向上を目指します

7階病棟 ● 師長
白砂 由紀



7F



外科、呼吸器外科
泌尿器科、消化器内科

8階病棟 ● 副師長
外科、呼吸器外科
泌尿器科、消化器内科
田川 万記子

患者さんに寄り添います

- 早い (迅速なケア・早期退院)
- うまい (質の高い看護)
- 優しい (安心・安全)



8F



手術室

貴方の期待を
超えてみせます

手術室 ● 副師長
岡本 真美

~寝ても醒めても寄り添う看護を目指します~



入院から退院まで切れ目のない薬剤管理を行います。

入退院支援センター

【入院前】

- ★持参薬・服薬歴の確認
- ★既往歴・かかりつけ医の確認
- ★中止・休薬する薬剤の説明
- ★当院に採用の無い薬剤の確認・把握
(薬剤手配)
- ★自宅での服薬管理の確認
- ★アレルギー歴・副作用歴の確認
- ★サプリメント・健康食品の摂取状況の把握



病棟薬剤業務

【入院中】

- ★服薬指導
- ★持参薬の管理
(確認から同効薬の選択まで)
- ★生活に合わせた服用工夫
(一包化、お薬ケース、お薬カレンダー)
- ★各診療科での回診、カンファレンスへの参加
- ★抗菌薬適正使用に向けたTDMおよび
カンファレンスなど



退院時薬剤情報管理指導

【退院時】

- ★転院時の医薬品情報提供書の発行
- ★入院時の薬剤に関する情報提供
- ★お薬手帳への薬剤情報記載
- ★残薬の整理(ポリファーマシー対策)
- ★調剤薬局への情報提供



地域調剤薬局との連携

【退院後】

- ★病院・調剤薬局合同薬剤勉強会(月1回)
- ★合同症例報告会
- ★患者情報の共有
(副作用の有無、患者服薬状況等)

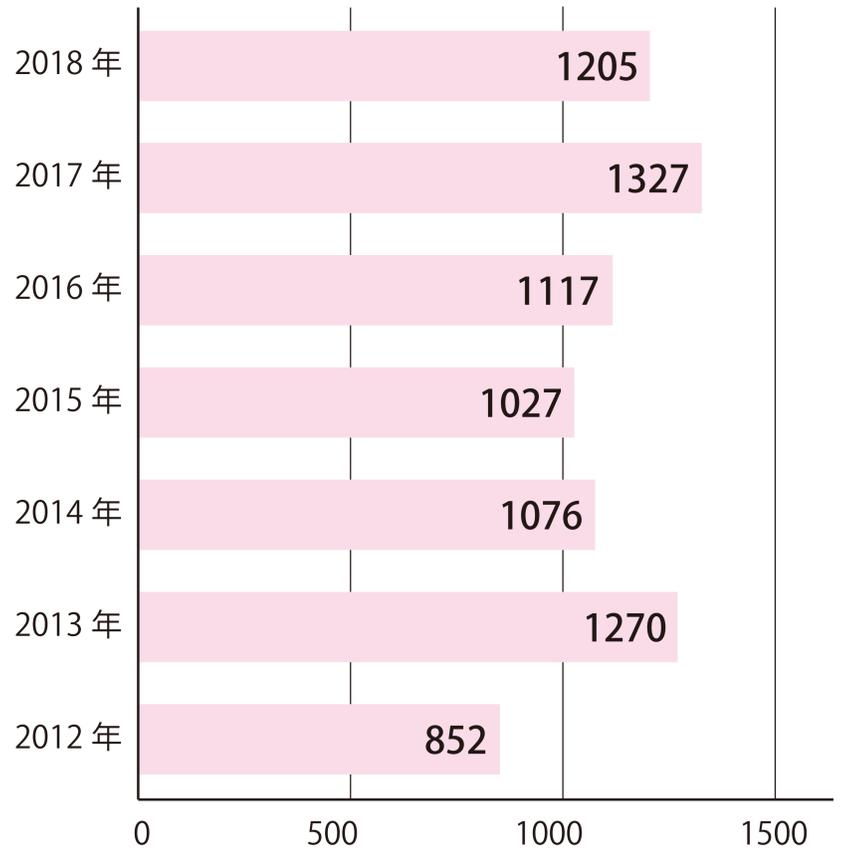
地域医療に貢献できるよう知識・技術の向上に努めてまいります。

門司セーフティネットワークの取り組み

門司地区にある5病院と、小倉北区にある1病院が連携を図り、地域での医療安全管理に関する情報共有を行い、医療の安全の向上を目指している。



インシデントアクシデント 報告件数



連携の経緯

- 平成27年10月 門司区の5病院の医療安全管理者が集合
(地域活動の中で、集まる機会を増やしていった)
- 平成28年11月 門司地区5病院医療安全管理**担当者連絡会議の発足**
- 平成29年 4月 門司地区医療安全管理**担当者会議規約の策定**
- 平成30年 4月 診療報酬改訂による医療安全対策地域連携加算新設
門司セーフティネットワーク会議に名称変更と規約の変更
- 平成30年 9月 病院相互ラウンド開始
- 平成31年 2月 地域連携活動について医療安全学会発表



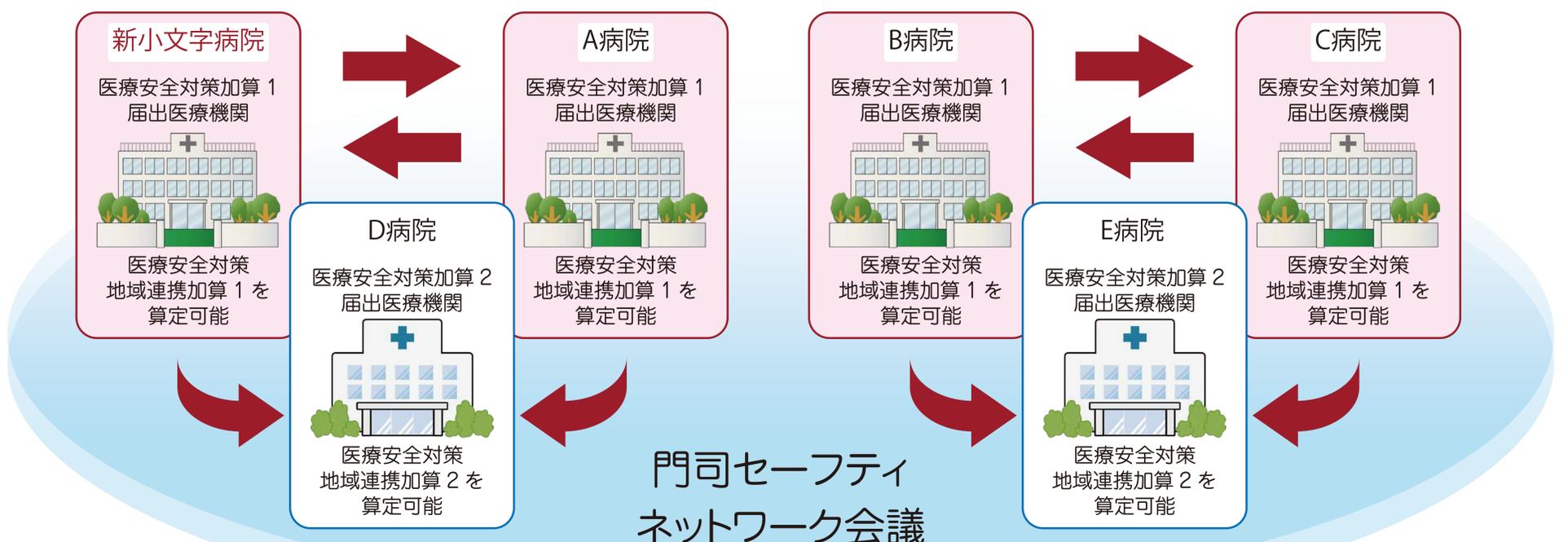
医療安全管理室
室長

松本 守正

セーフティ
マネージャー

梅川 糸子

医療安全対策地域連携加算での連携



Goal

- ①患者を医療関連感染から守る
- ②医療環境で医療従事者と訪問者、その他の人々を医療関連感染から守る



- ・耐性菌を広げない
- ・環境ラウンド
- ・サーベイランス
- ・アウトブレイク対応
- ・職業感染管理
- ・研修会 他



- ・耐性菌を作らない
- ・抗菌薬ラウンド
- ・モニタリング
- ・適切な微生物検査
- ・アンチバイオグラム作成
- ・研修会 他



2018年設置

- ・自部署の感染対策向上
- ・すべての部署、担当者を選出。現場に沿った感染対策の実施。



医師



医師



臨床検査技師

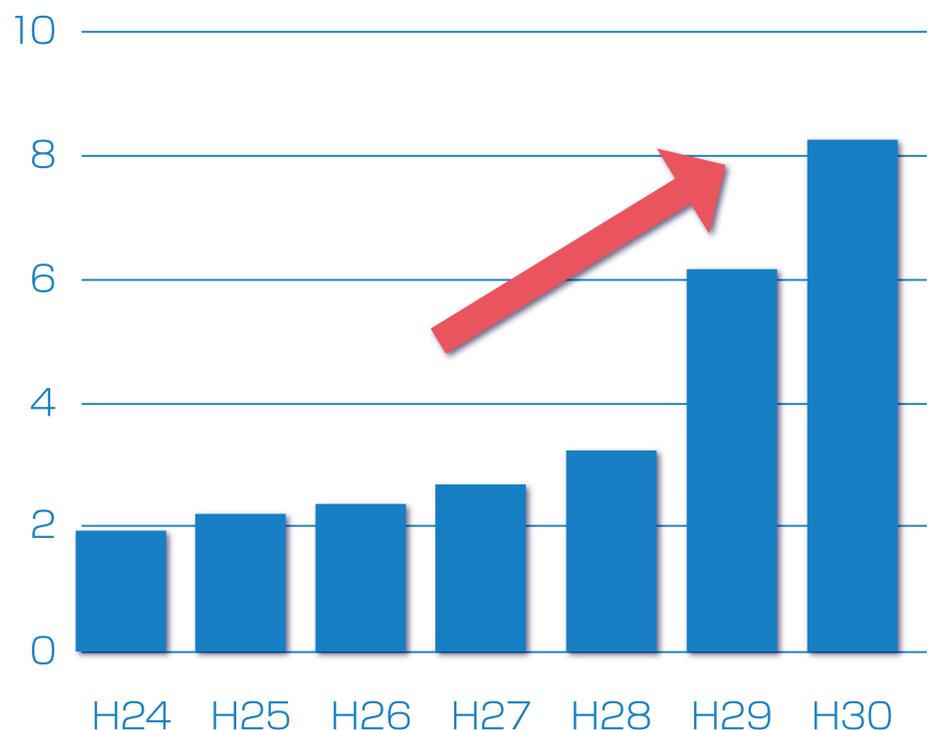


薬剤師



看護師

アルコール製手指消毒薬使用量



(1日1患者当たりの手指衛生回数)

患者総合支援センター（令和元年7月16日時点）



副院長 兼
室長
宗



副看護部長 兼
師長
取違

8F

呼吸器外科・外科
消化器外科
泌尿器科病棟

退院支援看護師



杜林

退院調整看護師



野中

ソーシャルワーカー



大石



入院支援
外来支援看護師
柴田



ケアマネージャー
谷川

7F

脊髄脊椎外科病棟



川上



天手



原口



相談窓口
佐藤



相談窓口
河野

6F

整形外科
形成外科病棟



杜林



野中



竹岡



北村



5F

脳神経外科
消化器内科
内分泌
糖尿病科病棟



川上



天手



竹岡



原口

4F

内科
循環器内科病棟



貞岡



神徳



藤下



大石



岡田

外来支援

- 外来通院中の患者さんの医療と生活面を整え、院内及び院外連携を図り医療の引継ぎを行う窓口。

入院支援

- 予約入院患者さん対象に入院から退院までのイメージができ安心して入院生活が送れるように支援する。
- 入院前に外部と情報の引継ぎを行なう。

退院支援

- 外来部門と入院部門との連携を図り、情報を整理し、問題点を抽出、多職種と検討後調整部門へ引き継ぎを行う。

退院調整

- 支援部門より引継ぎを受け、院内及び院外連携を図り、継続して安心した生活ができるように生活環境を整える。

患者
総合支援



看護師

紹介元退院調整、施設
帰所調整、退院前カン
ファレンスでの医療・
看護の引継ぎを行っ
ています

医療ソーシャル
ワーカー

新規転院調整、新規入
所調整、介護保険等の
社会資源の紹介等を
行っています

H30年度 当院連携機関TOP10（敬称略）

医療機関

入院元	件数	退院元	件数
1.新門司病院	44	1.北九州市立門司病院	235
2.日明病院	32	2.小倉さふね病院	136
3.北九州市立門司病院	22	3.北九州小倉病院	87
4.新行橋病院	20	4.JR九州病院	81
5.門司松ヶ江病院	19	5.小倉リハビリテーション病院	80
6.北九州小倉病院	16	6.下関リハビリテーション病院	75
7.小倉リハビリテーション病院、鳥巢病院	各15	7.北九州中央病院	48
8.下関リハビリテーション病院、門司田野浦病院	各13	8.新門司病院	40
9.門司掖済会病院	11	9.緑ヶ丘病院	38
10.北九州中央病院	10	10.大手町リハビリテーション病院	34

施設

入院元	件数	退院元	件数
1.サポートセンター門司	58	1.サポートセンター門司	41
2.日赤豊寿園	49	2.小文字の郷	37
3.小文字の郷	48	3.ラ・ナシカふじまつ	33
4.ラ・ナシカふじまつ	40	4.日赤豊寿園	32
5.かていな赤坂	29	5.好日苑大里の郷	24
6.清松園	26	6.ひかりの丘	21
7.好日苑大里の郷、さわやか新門司館	各25	7.清松園	18
8.陽光園	23	8.陽光園	16
9.ひかりの丘、ソレイユ浅野	各22	9.さわやか新門司館、ケアライフ門司	各15
10.ケアライフ門司	19	10.かていな赤坂	14

病診連携

地域の医療機関・福祉施設と密接な連携を図るための窓口となり、紹介患者がスムーズに受診・入院していただけるように日程調整を行っております。また病診連携に関する資料等のお問合せの件、ご相談等お待ち申し上げます。